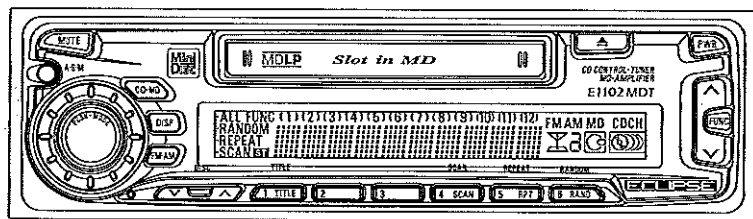


# ECLIPSE

チェンジャーコントロール MDメインユニット

## E1102MDT

### 取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。  
また、お読みになった後も、必要などきにならすぐご覧になれるよう  
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

## 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



### 警告

- 本機は、DC12V⊖アース車用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調節等の操作をしない。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ディスク挿入口に異物を入れない。火災や感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れない。発煙、発火、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しない。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

---

 **警告**

---

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は走行中に、MD等の交換をしない。  
前方不注意となり事故などの原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ビニール袋をかぶらない。  
大きな事故や窒息死の原因となります。


---

 **注意**

---

- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。  
取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
  - 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。  
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
  - ディスク挿入口に手や指を入れないでください。  
けがの原因となることがあります。
  - アンプ放熱部に手を触れないでください。  
放熱部の熱でやけどをする場合があります。
  - 本機を車載用として以外は使用しないでください。  
感電やけがの原因となることがあります。
  - 電源ON時は、ボリュームの位置に注意してください。  
電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
  - 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。  
火災の原因となることがあります。
-

---

 注意

---

- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。  
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
  - 本機は不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。  
本機の改造は、危険なレーザー放射の被曝（視力低下の原因）をもたらせたり、事故・火災・感電の原因となることがあります。
  - 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
-

# 目次

使用上のご注意 .....	7
MDプレーヤーについて .....	7
ミニディスク(MD)について .....	8
清掃について .....	9
各部の名称 .....	10
基本操作 .....	11
電源を入れる/切る .....	11
MDを聞く .....	11
ラジオを聞く .....	12
音量を調節する .....	13
その他 .....	14
MD部の操作 .....	17
MDを聞く .....	17
ディスクを取り出す .....	18
タイトル名/曲名を表示する .....	18
次の曲に進む/曲の頭に戻る .....	19
曲の始めの部分を演奏する(SCAN) .....	19
繰り返し演奏する(REPEAT) .....	20
曲の順番を変えて演奏する(RANDOM) .....	20
チューナ部の操作 .....	21
自動的に放送局を記憶させる .....	21
手動で放送局を記憶させる .....	22
記憶させた放送局を確認する .....	23
FM放送について .....	24

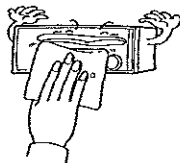
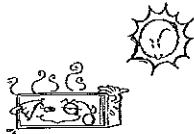
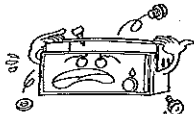
(別売)CDオートチェンジャーを 接続したときの操作.....	27
基本操作.....	27
困ったときは.....	30
インフォメーションが点滅する.....	30
仕様について.....	35

## ◆使用上のご注意

### ⚠ 警告

走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

### MDプレーヤについて



- ・ ミニディスク挿入口へは絶対に異物を入れないでください。
- ・ 悪路を連続走行した場合、音がとぎれたりすることがありますが、故障ではありません。

- ・ 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、デッキ内部にも霧（水滴）が生じることがあります。

この場合は、音がとんだり、再生が停止したりするので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

- ・ 本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

- ・ 夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてからお使いください。

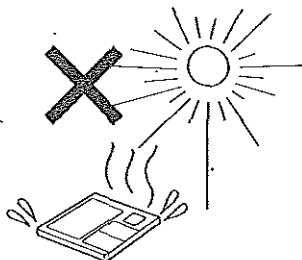
- ・ 湿気に注意してください。本機に液体が入ったりかかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。

- ・ 本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

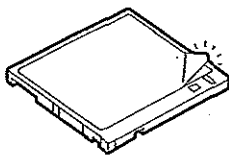
## ミニディスク(MD)について

### ●注意●

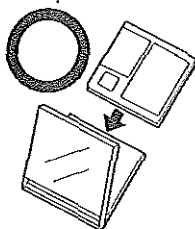
ミニディスクは直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。ミニディスクが反り、使用できなくなる恐れがあります。



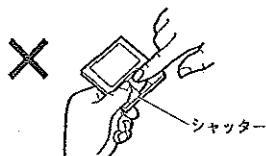
- ラベルがはがれかけていたり、  
ネームテープが貼ってあるミニディスクは使用しないでください。



- ミニディスクは、ケースに入れて  
保管してください。



- ミニディスクのシャッターは、手  
で開けないでください。





## 清掃について

- ・ 本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

### ●注意●

ペンシンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。

- ・ ミニディスクのカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。

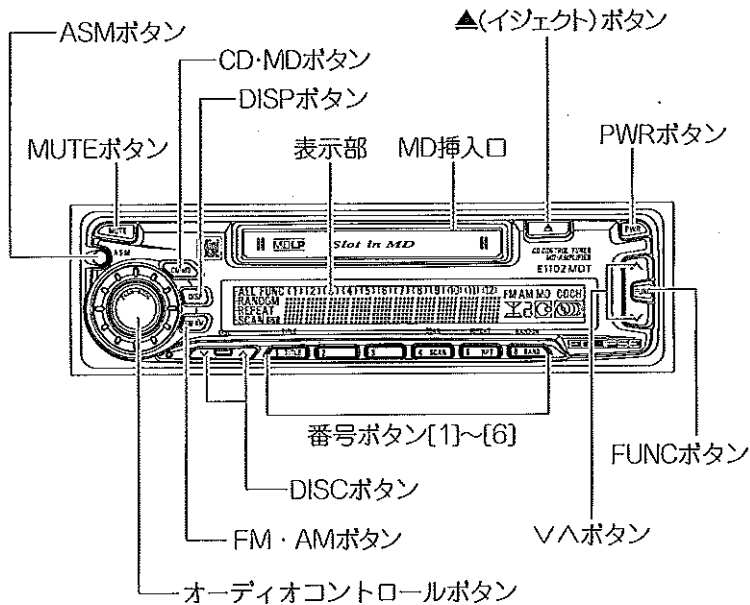


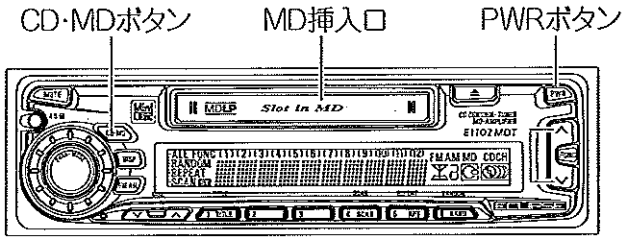
## ◆各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。

詳細は、各操作の説明を参照してください。(MD部の操作 17ページ、チューナ部の操作 21.ページ)

### 本機正面





## ◆基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

### ■電源を入れる/切る

1. <sup>パワー</sup>[PWR]ボタンを押す

ボタンを押すと、電源が入ったり切れたりします。

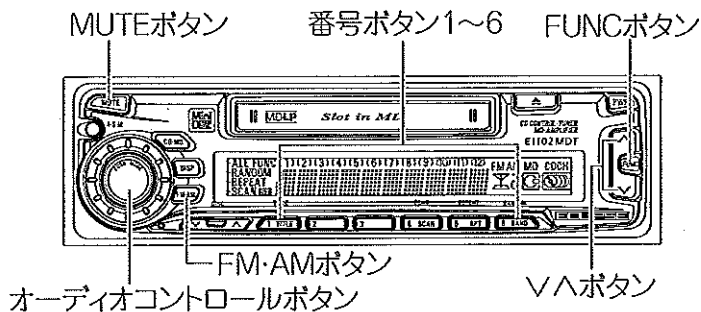
### ■MDを聞く

1. 挿入口にMDを挿入する

挿入と同時に演奏を開始します。

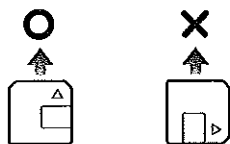


すでにMDが装てんされているときは、[CD・MD] ボタンを押すと演奏を開始します。



●注意●

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



■ ラジオを聞く

1. [FM・AM]ボタンを押す  
チューナの操作に切り換わります。
2. [FM・AM]ボタンを押して、FM/AMを切り換える  
ボタンを押すごとにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。
3. [V H]ボタンを押して、放送局を選択する  
[V H]ボタンを短めに（1秒未満）押すと手動で、長めに（1秒以上）押すと自動的に放送局を探します。  
H…周波数の高いほうへ選局  
V…周波数の低いほうへ選局



放送局を記憶させてある場合は番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押し、放送局を直接選択できます。(「手で放送局を記憶させる」22ページ参照)

## ■ 音量を調節する

1. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す  
左に回す…音量が小さくなる  
右に回す…音量が大きくなる

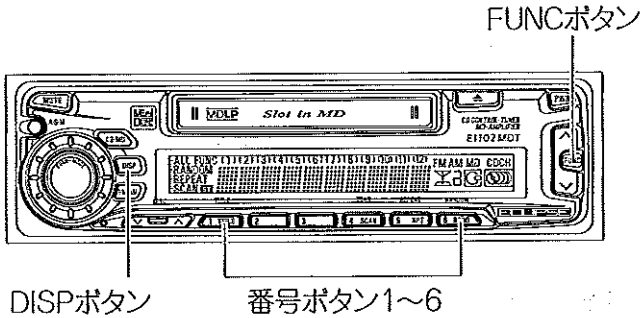


瞬時に音量を小さくしたいときは、[MUTE]ボタンを押します。  
音量を大きくするには、もう一度[MUTE]ボタンを押すか、[オーディオコントロール]ボタンを右方向に回します。



### 警告

自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。



## ■ その他

本機は、他に次のような機能があります。

### ▼ガイドトーン（操作音）解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。次の手順でガイドトーンが解除できます。

1. [FUNC]ボタンを押す
2. 「BEEP OFF」と表示されるまで番号ボタン[6]を押す
3. 再度[FUNC]ボタンを押す  
ファンクションモードを解除します。



再びガイドトーンがなるように設定するときは、同様の操作を行い「BEEP ON」と表示させます。

### ▼表示部のコントラストを調整する

表示部を見る角度に合わせて、表示部のコントラストを見易く調整することができます。

1. [FUNC]ボタンを押す
2. 番号ボタン[1]または[2]を押して調整する  
番号ボタン[1]: 下方向に調整  
番号ボタン[2]: 上方向に調整

## 3. 再度[FUNC]ボタンを押す

ファンクションモードを解除します。

## ▼各モードの表示を切り換える

次のように各モードの表示を切り換えることができます。

1. <sup>ディスプレイ</sup>[DISP]ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように表示が切り換わります。

チューナー時	周波数→時計
MDプレーヤ時	トラックNo/経過時間→タイトル→時計
CDチェンジャー時	トラックNo/経過時間→時計

## ▼時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。真夜中はAM 12:00、正午はPM 12:00と表示されます。

1. <sup>ディスプレイ</sup>[DISP]ボタンを押して、時計表示に切り換える
2. <sup>ディスプレイ</sup>[DISP]ボタンを押しながら番号ボタン[1]～番号ボタン[4]を押す

時間を調節します。

番号ボタン[1]…数字が減る

番号ボタン[2]…数字が増える

分を調節します。

番号ボタン[3]…数字が減る

番号ボタン[4]…数字が増える



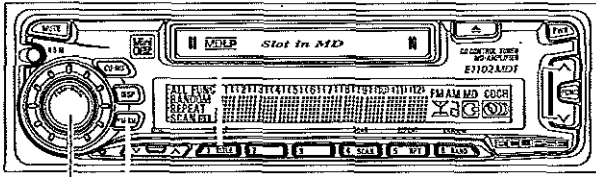
00分00秒(正時)に時計を合わせたいときは、<sup>ディスプレイ</sup>[DISP]ボタンを押しながら番号ボタン[5]を押します。

正時合わせは、30分単位で切り換わります。

例)

PM 3:29 → <sup>ディスプレイ</sup>[DISP]ボタン + 番号ボタン[5] → PM 3:00

PM 3:30 → <sup>ディスプレイ</sup>[DISP]ボタン + 番号ボタン[5] → PM 4:00



オーディオコントロールボタン

### ▼ オーディオコントロールモードの切り換え

各モードの微調整が行えます。

1. [オーディオコントロール]ボタンを短めに押す  
ボタンを押すごとに、次の順に切り換わります。
  1. VOLUME(音量)
  2. BASS(低音)
  3. TREBLE(高音)
  4. FADER (前後のスピーカのバランス)
  5. BALANCE (左右のスピーカのバランス)
2. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回して調整する  
右…強調する  
左…弱める



・BASS、TREBLEは各ソース (AM、FM、CD、MD) ことの調整となります。

### ▼ ラウドネスの設定

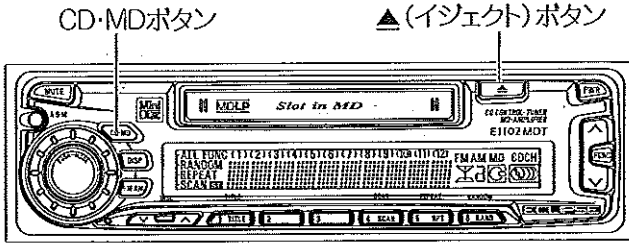
LOUDネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くときにLOUDネスをONにすると、低音の不足感が補正されます。

1. 「LOUD ON」と表示されるまで[オーディオコントロール]ボタンを長めに押す



LOUDネスを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示させます。





## ◆MD部の操作

ここでの操作は、すでにMDが装てんされていることを前提に説明します。[CD・MD]ボタンを押してディスクモードに切り換えてから行ってください。

本機は、MDLP (LP2モード/LP4モード) に対応しています。ただし、グループ管理機能には対応していません。

### ■ MDを聞く

#### 1. [CD・MD]ボタンを押す

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

CDチェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとにMDプレーヤー→CDオートチェンジャーの順に切り換わります。

このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

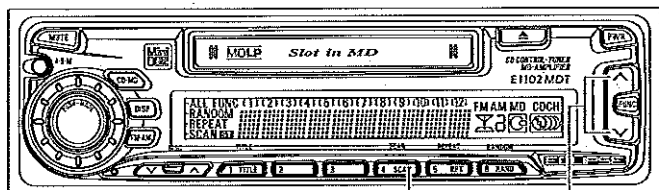


ディスクがセットされているときは、[▲(イジェクト)]ボタンが赤く点灯します。

#### ●注意●

MDに傷があると、演奏中に音が途切れることがあります。





番号ボタン 4

V/Hボタン

●注意●

- ・ 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。

■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

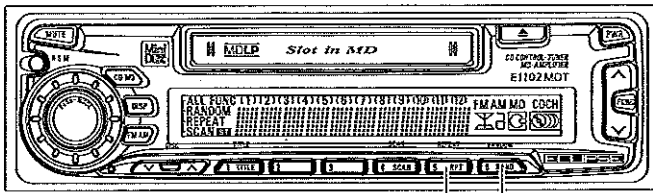
1. [V H]ボタンを押す  
 H…次の曲に進む  
 V…演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(H方向)または早戻し(V方向)します。

■ 曲の始めの部分<sup>スキヤン</sup>を演奏する(SCAN)

1. 番号ボタン[4]を押す  
 演奏しているMD全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。



番号ボタン 5 番号ボタン 6

■ 繰り返し演奏する(リピート REPEAT)

1. 番号ボタン[5]を押す  
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

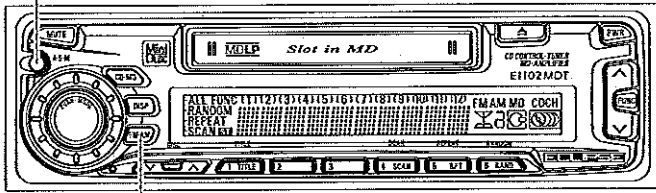
■ 曲の順番を変えて演奏する(ランダム RANDOM)

1. 番号ボタン[6]を押す  
演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。



- ・ まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- ・ 「曲の始めの部分演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

ASMボタン



FM・AMボタン

## ◆チューナ部の操作

ここでの操作は、[FM・AM]ボタンを押して、チューナの操作に切り換えてから行ってください。

放送局を記憶させるには、自動と手動の2通りの方法があります。

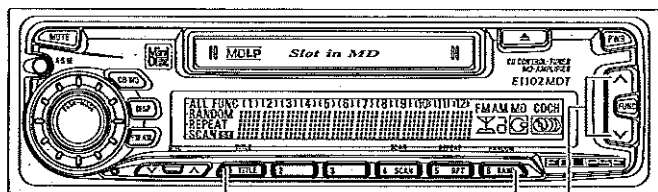
本機は、AM1、AM2が各6局、FM1、FM2が各6局の合計24局を記憶できます。

### ■自動的に放送局を記憶させる

1. 「ASM ON」と表示されるまで[ASM]ボタンを長めに押す  
周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。  
受信電波の強い局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。  
「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。



- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・ご希望の放送局が記憶されなかったときは手動で放送局を選択することもできます。(「手動で放送局を記憶させる」22ページ参照)



## ■ 手動で放送局を記憶させる

ASMでご希望の放送局がメモリできなかった場合など、手動で放送局を選局する方法を説明します。

1. [VΛ]ボタンで記憶する周波数に合わせる
2. 「P1~6 MEMORY」と表示されるまで任意の番号ボタンを押す  
選択した放送局が番号ボタンに記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

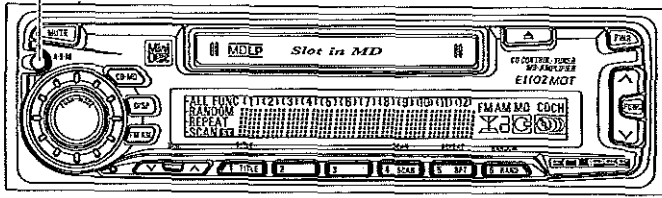


番号ボタンを押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができます。

### ● 注意 ●

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断られたときおよびリセットボタンを操作したときは、ここでの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

ASMボタン



## ■ 記憶させた放送局を確認する

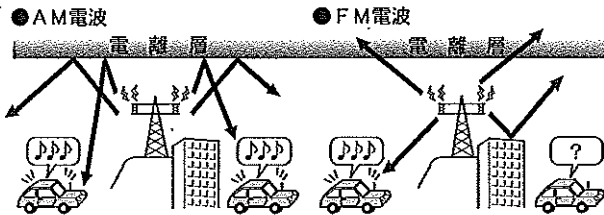
1. [ASM]ボタンを短めに押す。  
「P SCAN」と表示され、記憶された放送局を5秒間ずつ受信します。  
再度[ASM]ボタンを押すと解除されます。

## ■ FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

### 1. FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



### 2. フェードアウト

FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

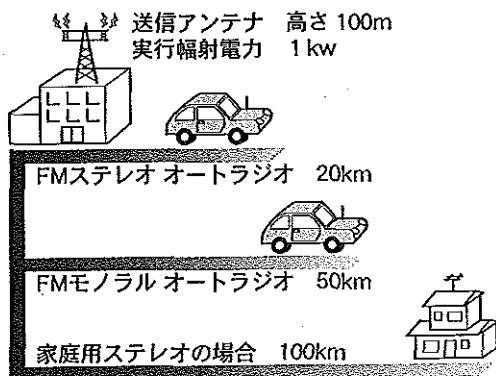


### 3. FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

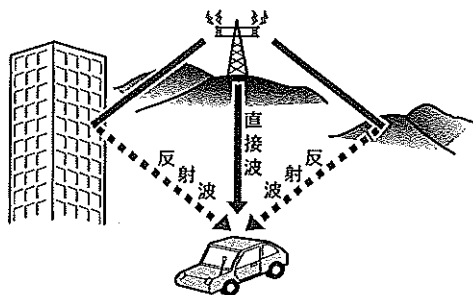


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

#### 4. マルチパス

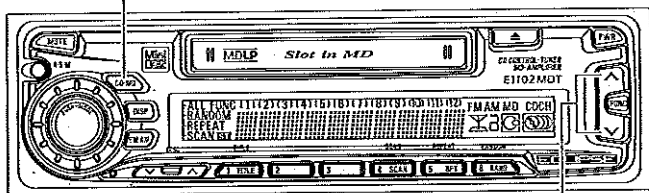
放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音がでたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといひます。

このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させてください。



(別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作

CD・MDボタン



V^ボタン

◆ (別売)CDオートチェンジャーを  
接続したときの操作

■ 基本操作

CDオートチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。

チューナから切り換えるときは[CD・MD]ボタンを押してください。

▼MD/CDを切り換える

1. [CD・MD] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、MDプレーヤー→CDオートチェンジャーの順に切り換わります。

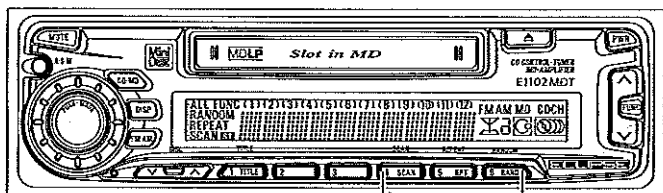
このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

▼次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. [V ^]ボタンを押す

^…次の曲に進む

V…演奏中の曲の頭に戻る



番号ボタン 4~6



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(↑方向)または早戻し(↓方向)します。

### ▼曲の始めの部分を演奏する(スキャン)<sup>スキヤン</sup>(SCAN)

1. 番号ボタン[4]を押す

演奏しているCD全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装てんしている全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

### ▼繰り返し演奏する(リピート)<sup>リピート</sup>(REPEAT)

1. 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

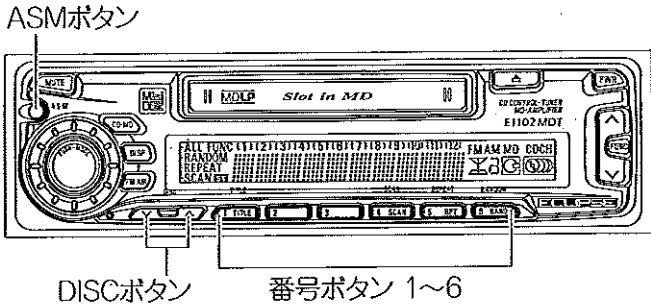
「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

### ▼曲の順番を変えて演奏する(ランダム)<sup>ランダム</sup>(RANDOM)

1. 番号ボタン[6]を押す

演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしている全CD内の曲を順不同に演奏します。



- ・まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部に「SCAN」、「REPEAT」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

### ▼次のCDに進む/前のCDに戻る

1. [DISC]ボタンを押す

△…CD 番号が上のディスクへ移る

▽…CD 番号が下のディスクへ移る

### ▼演奏するCDを指定する

装てんしているCDのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM]ボタンを押す

2. 番号ボタン[1]～[6]のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
CD番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

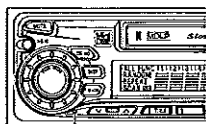
CD番号7～12を指定するときは、番号ボタンを長めに押してください。

## ◆困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

### ●注意●

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったものでリセットボタンを押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

## ■インフォメーションが点滅する

「INFO No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。

また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナー等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。

No.	インフォメーション	対処
5	メカトラブル	<p>・イジェクトボタンを押して一度ディスクまたはマガジンを出し、再度ディスクまたはマガジンを挿入して再生してください。</p> <p>・イジェクトしてもディスクまたはマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。</p>
6	内部が高温になった	<p>しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。</p> <p>それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。</p>
7	内部電源が異常になっている	<p>ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。</p>
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	<p>ディスクを再度挿入するか、取り出してください。</p>

\*この内容は、MDのみ適用されません。

困ったときは

	症状	原因	処置	参照ページ
共通	音が出ない。音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	13
		ミュート (MUTE) が働いていませんか。	ミュート (MUTE) を解除してください。	13
		フェダーやバランスが片寄った設定になっていませんか。	フェダー、バランスを適正な位置に調整してください。	16
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカーの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行なってください。	
電源が入らない。		一度にたくさんの電装品を取付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行なってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行なってください。	
記憶した周波数やタイトルが消えてしまう。		お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	21 22
		一度にたくさんの電装品を取付け、電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行なってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行なってください。	
ガイドトーンが出ない		ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンを設定し直してください。	14



	症状	原因	処置	参照ページ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐ出てくる。	ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	8
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクのラベルを整えてください。	
		ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。変形や破損したディスクは、使用しないでください。	
		無録音のディスクを使用していませんか。	録音済みのディスクを使用してください。	
	ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。変形や破損したディスクは、使用しないでください。	8
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクのラベルを整えてください。	
	音が飛ぶ 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ換えてみてください。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	7
		取り付け角度は適正ですか。 取り付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		悪路を走行されていませんか。	悪路を走行中の使用は、できる限り避けてください。	
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース（CD、テープなど）の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

## 困ったときは

	症状	原因	処置	参照ページ
ラジオ	放送を受信できない。雑音が入る。	アンテナが収納状態ではありませんか。	アンテナを伸ばしてください。	
		アンテナコードは抜けていませんか。		
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	21 22
		放送サービスエリアを外れていませんか。	移動先の地域の放送周波数にセットし直してください。 (放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。)	21 22
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用していませんか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

## ◆仕様について

本機の仕様は、次のようになっています。

## MD部

周波数特性	20Hz~20kHz
ダイナミックレンジ	90dB
S/N比	90dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.02%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

## チューナ部

受信周波数	AM522~1629kHz FM76.0~90.0MHz
実用感度	AM22 $\mu$ V(S/N20dB時) FM12dBf(新IHF)
周波数特性	30Hz~15kHz(FM)
ステレオセパレーション	38dB

## 仕様について

---

### 共通部

トーンコントロール	・ BASS 100Hz±10dB ・ TREBLE 10kHz±10dB
ラウドネス	・ 100Hz+9dB ・ 10kHz+5dB
最大出力	35W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	300mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V(11~16V)、⊖ アース専用
消費電流	1W×4出力時 約3A、最大約12A
寸法	178mm(幅)×50mm(高さ)×157mm(奥行)
重量	本体約1.2Kg

### ●注意●

---

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本機は、CDオートチェンジャーと組み合わせることができます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

E1102MD1

# 富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸(078) 671-5081(代表)

090002-24970700

0201MT (N)